

クラス番号	225	ゼミタイプ	サービスラーニング（コミュニティ）型
		担当教員名	部田かね代
テーマ	社会福祉協議会の出先機関も併設されている居住棟や喫茶・デイサービス等を有する NPO 法人ひだまりをフィールドにして行政や社会福祉協議会との協働事業、幼稚園・地域住民を始め、高齢者・障がい者施設等を運営する他の社会福祉法人等との多職種・多機関連携を考える。		

ゼミナール概要

目的・内容・方法等

- ① 電話やメール等でのやりとりや訪問時等での関係者との連絡調整を通じて、次年度以降の実習・就活に向けてアポイントの取り方・言葉使い・体験活動終了後の報告・礼状の書き方等、社会人としての基本的なマナーを身につける。
- ② 行政・地域住民・NPO/社会福祉協議会等、それぞれの視点からの役割について学び、地域課題を見つけ解決の方策を講じる。
- ③ 多様な人と触れ合う事により卒業後の具体的な進路の選択のきっかけを得る。
- ④ ひだまりが運営するワンルームマンションの居住者（健常者・勤労学生・障がい者・要介護者等）、高齢者向けデイサービス、喫茶・各種教室の受講生の生活歴・意向を把握しその背景を理解するとともに併設の総合相談コーナーや認知症カフェを通じて多様な人との交流の機会を得て、どのように関わっていけるかを検討し実践する。

授業計画

<前期>

- ① ひだまりの活動内容・高齢者・障がい者・生活困窮者等について理解する。
- ② ひだまりの活動に関わっている関係機関について学ぶ。
- ③ グループ分けと活動先（事業）の課題の抽出と課題解決の為の見立てをする。
- ④ 活動日・活動内容等について活動先の担当者と連絡調整を行いつ承を得る。
- ⑤ 活動の為に必要と思われる事前調査や準備をする。

<夏休み>

- ① グループ毎に活動に参加（5日間程度）

<後期>

- ① 活動の振り返りと報告会に向けての資料作り。
- ② 研究課題の決定とグループ作り。
- ③ 一年間のまとめと成果発表。

担当教員からのメッセージ

活動を通じて、支援者・被支援者双方の視点から見る事により、学生の立場でどのような提案・実践・支援が出来るか考えていきましょう。

また、活動中にひだまりと連携する他団体職員・地域住民等との交流を通じて、ひだまりの活動以外の知識を得て、自身の今後の進路を考える機会を得ましょう。

特に、幼少期・子育て期の家族との関わり方が、その後の成人・高齢者となった際の生活に影響を及ぼす場合がある事を高齢者との触れ合いを通じて体験できるかもしれません。